

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

8.9 狭山中央闘争に8000余が決起!

再審貫徹・石川氏奪還!

あの不法不当「上告棄却」攻撃から二年目の八月九日、部落解放同盟の主催のもと、日比谷野音をいっばいに埋め尽して8・9最高裁 不当差別「上告棄却」二ヶ年糾弾、狭山再審要求中央決起集会が開催された。

全体集会は一三時、「差別裁判うちくだこう」の大合唱で開会された。

挨拶に立った松井委員長は、二年前の八月九日のダマシ討ち的な上告棄却攻撃を激しく弾劾し、「再審貫徹」の闘いの重要局面到来を訴えた。つづいて高裁への要請行動の報告・基調報告・狭山弁護団の報告では主に「脅迫状の日付訂正」をめぐる決定的新証拠の扱いをめぐる高裁当局との闘いの経過が詳しく報告された。

強まる「再審却下」攻撃を 全力でうちくだこう!

即ち「本紙第一三〇号(五月二六日付)で詳報した如く」石川さんの無実を完全に裏づける「日付」の新証拠に関して事実調べを申し入れるべく打合わせを要請した弁護団に対し、四ッ谷裁判長は七月三日、これを不当にも拒否する一方で、七月五日には、「検察側の意見を聴く」という実に差別的かつ不法不当な動きに出てきているのである。裁判所自身が証拠を究明し判断すべき任務をあらかじめ回避して、こともあろうに無実の石川さんを無理やり「犯人」にデッチ上げ、拷問・ペテンの限りを尽し本物の証拠を全ておしかくしてニセの「自白・証拠」をデッチ上げ続けてきた警察・検察の意見のみを聴いて判断するというのが、こんな反動のかつ予断偏見のやり方があるだろうか! 会場には激しい怒りがうずまいた。

三里塚空港反対同盟 郡司さんが連帯のあいさつ

共闘諸団体より社会党・公明党・総評・東本願寺・全国「障害者」解放連絡会議からの連帯挨拶につづいて、三里塚芝山連合空港反対同盟を代表して郡司とめさん、市東東市さんが登壇し労働水の固い団結に大衆の實力闘争こそが勝利を切りひらくこと、三里塚戦士星野さんへの死刑求刑攻撃を粉碎し、二期工事實力阻止の闘いで共同の敵を倒し、一日も早く石川さんを取りもどそう、と訴え満場の拍手で迎えられた。

一四時一〇分、われるような拍手と歓声の中を会場の人波をかきわけるように「全国行進隊」が到着した。石川氏奪還・再審貫徹を訴えて、五月二五日東京を出発、三里塚・関東甲信越・北陸・関西・中国国として九州は鹿児島まで七七日間を歩き、訴え通した苦しくも感動的な報告がされた。

同盟登校等闘いぬき手製ののぼり・ワッペンで、参加した解放子供会の元気いっばいの報



獄中16年石川さんの叫びにこたえて 8000名が 高裁包囲のデモを闘いぬいた。全国で唯一機関決定参加した千葉県労連青婦協150名は部落解放同盟と固く連帯し、最後まで闘った。

告につづき、一六年目の酷暑の獄中から届けられた石川さんのメッセージが代読された。石川さんは全国の三〇〇万兄弟の中に狭山思想・狭山闘争が定着しつつあることをよろこび、わが身の解放と同時に全部落兄弟の自主解放の闘いであること奪われた自分の青春一六年間というおん念は、「再審」実現によってほらす。10・31闘争までに勝利を切りひらくと不退転の決意をのべている。われわれは無実の石川さんをいまだ奪還しえていない現実を厳しく反省し一層の力を積み上げこれに応えねばならない。

動労千葉青年部、千葉県労 連青婦協の先頭で決起!

狭山闘争の政治主義的・セクト的利用主義者革新マルに牛耳られた動労「本部」青年部はもろろんほとんど全ての労働組合・機関が8・9闘争を放棄している中で、全国唯一千葉県労連青婦協が7・29千葉刑糾弾闘争にひきつづき、機関決定をもつてこの日参加したことは極めて重要なことである。国労・動労千葉・全通・全電通・自治労・金属・その他民間有志からなる一五〇名の隊列は炎天下をものともせず、解放同盟千葉県連と固く連帯し最後まで闘いぬいた。動労千葉青年部は五〇名の参加をもつてこれをけん引したのである。

現在、元号法制化一有事立法攻撃をはじめ、侵略II排外主義の攻撃と共に差別攻撃が一層強められ、合言葉をしつかりとくえとめ、更に学習・討論・交流を深め、狭山闘争勝利へむかってつき進もうではないか。

お知らせ

来たる八月一三日(月)の「日刊」は、休刊となりますので御了承下さい。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ!